

- ◎ 農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）
- ◎ 地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）
 - ・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について
- ◎ 助成金情報（公益財団法人 北海道地域活動振興協会）
- ◎ 活動支援情報（花と緑のネットワーク）

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎ 東京池袋「ぐるめぐり 冬の大北海道展」で「わが村」運動をPR！

東武百貨店池袋店で毎年1月に開催している「ぐるめぐり 冬の大北海道展」において、1月24日と25日の両日、当会場の一角に「わが村コーナー」を設け、PR活動を実施しました。大盛況の北海道展の中で、今回は農泊や体験型観光などを中心に、道内各地で活躍する「わが村」団体のパンフレットやDVDの放映などにより紹介し、首都圏の方々にも関心を持っていただきました。

会場へお越しの皆様、ご協力くださった関係者の皆様、ありがとうございました。



◎ＪＲ北海道車内誌「The JR Hokkaido」２月号の掲載情報

ＪＲ北海道車内誌には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。２月号では、第１１回コンクールで優秀賞を受賞した「ニサナイ大地の会」（むかわ町）について紹介されています。

ＪＲにご乗車の際は、ぜひご一読ください。

ＪＲ北海道ＨＰからＪＲ北海道車内誌（最新号）の電子ブックがご覧いただけます。

（ＨＰトップページ↓の下段より「北海道旅の情報誌 The JR Hokkaido」のバナーを選択）

<https://www.jrhokkaido.co.jp/>

「ニサナイ大地の会」については、わが村ＨＰでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa0000019pd9-att/slo5pa000001a84a.pdf

◎広報誌「開発こうほう」２月号の掲載情報

（一財）北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。２月号では第７回コンクールで奨励賞を受賞した「昴～うづら～」（深川市、妹背牛町、幌加内町）について紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は（一財）北海道開発協会のＨＰよりご覧いただけますので、「わが村は美しくー北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

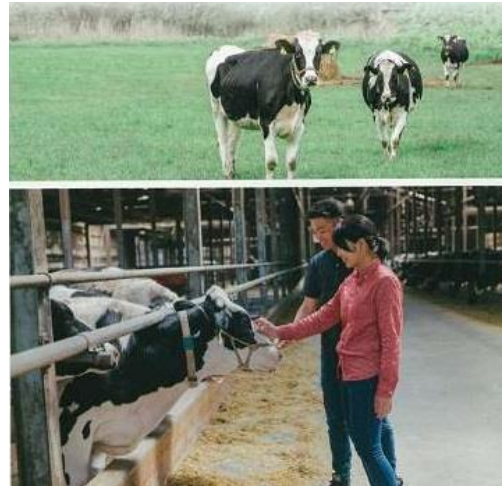
「昴～うづら～」については、わが村ＨＰでもご紹介しております↓

<http://wagamura-net.jp/contest/07/dantai/7011.pdf>

【わが村コラム】

今回ご紹介するのは、日高町富川で酪農の経営とともに乳製品の加工や販売（6次化）を手がけている「**チーズ工房1103 × 広富農事組合法人 倶里夢(くりむ)牧場**」（第11回コンクール応募団体）の“**チーズ製品**”です。

豊かな海、日高山脈に囲まれた厳しくも美しく、雄大な自然のなかにある「倶里夢牧場」では、良質な牧草を作り安定した餌を通年で供給することで、約350頭の健康な搾乳牛を飼育しています。この牧場で家族のように育てられた牛たちから搾った牛乳を使って、「チーズ工房1103」では、一つずつ手作業により心を込めてチーズが



作られています。夫婦二人の小さな工房で生産数が限られていますので、直売所でも月に一回の販売となっています。

チーズの種類は、ストリング、カチョカバロ、モッツァレラ、生カマンベール（フレッシュ、熟成）、ブルーチーズと豊富で、無添加の牛乳アイスも作っています。

そこで、私が今回食べてみた「2種類」のチーズをご紹介します。

① カチョカバロ

約半年かけてしっかり熟成させるカチョカバロは、こんがり焼くとミルクの風味とこくが広がり、ビールとの相性は最高でした。ただし、油断して焼きすぎるとすぐに焦げます。焼き上げのタイミングが難しい。(笑)



② スtring 日高

北海道日高町といえば日高昆布。刻んだ日高昆布を練りこみ、日高昆布醤油、日高昆布出汁を合わせた特製タレに漬け込んだ日高町ならではのチーズで、塩味の中に甘みと旨味、そして香りが良く、食べ出すと1本全てを最後まで割いてしまう一品で



す。特に雑味が少ない純米酒との相性は抜群です。(あくまでも、お酒好きな私の感想です(笑))

「チーズ工房1103」のチーズ製品は、直売所で毎月第4日曜日に販売されるほか、きたキッチン新千歳空港、道の駅「樹海ロード日高」などでも販売されています。日高町の「ふるさと納税返礼品」にもなっています。



また、不定期ではありますが、1年に数回「ホテルポールスター札幌」で開催される「日高フェア」に出店しチーズを販売することもありますので、皆さんも、機会があれば、いろいろなチーズを手にとってみてください。

きっと、お気に入りのチーズが見つかりますよ！

■ チーズ工房1103（直売所）

【住 所】 沙流郡日高町

富川東6丁目11-7

【営業日時】 毎月第四日曜日11:00～17:00のみの営業です。

【H P】 <https://1103cheese.jp/>

【SNS（instagram）】 <https://www.instagram.com/cheeseworkshop1103/>

↑ 販売の情報など、こちらよりご確認ください。



【わが村団体活動情報】

◎「じゃがリンピック20周年記念 森崎博之氏講演会」を開催します！（遠軽町）

<わが村団体名：白滝じゃが生産部会じゃがリンズ>

じゃがリンピック20周年を記念して演劇ユニット「TEAM NACS」リーダーで北海道農業の素晴らしさや食育の大切さを伝える講演会を全国各地で行っている森崎博之氏の講演会を遠軽町で開催します。「生きることは食べることをテーマにご講演いただきますので、皆さまお誘いあわせの上、是非お越しください。

【講演日時】 令和7年2月21日（金）

受付18:00 講演19:00

【講演場所】 遠軽メトロプラザ大ホール

（遠軽町岩見通南1-1-2）

※申込不要、入場無料です。

【お問合せ】 0158-48-2311

（JA えんゆう 白滝支所）



森崎博之氏 Profile

演劇ユニット「TEAM NACS」リーダー。多くの作品の脚本・演出を手がける。
2008年、北海道の農業をあらゆる角度から取り上げ、食のあり方を見直す番組 HBC「森崎博之のあぐり王国北海道」（現「あぐり王国北海道 NEXT」）がスタート。
2016年には自身のエッセイをまとめた書籍「生きることは食べること〜森崎博之の熱血あぐり魂」を発刊。北海道農業の素晴らしさや食育の大切さを伝える講演会を全国各地で行っている。2020年よりホクレンアンバサダーとして北海道の農業の魅力を伝えている。

2月21日（金） 受付18:00 講演19:00
遠軽メトロプラザ大ホール 申込不要 **入場無料**

北海道紋別郡遠軽町岩見通南1-1-2 お問合せ:0158-48-2311 (JAえんゆう白滝支所)

主催 白滝じゃが生産部会 じゃがリンズ 後援 遠軽町 / JA えんゆう

【HP】 <https://www.shirataki-j.com/> （白滝じゃが生産部会じゃがリンズ）

【Facebook】 <https://www.facebook.com/shirataki.ja/> （じゃがリンズ）

◎「第36回タンチョウフェスティバル」開催！！（鶴居村）

<わが村団体名：NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会>

当法人が参画している鶴居4大イベントの1つである「タンチョウフェスティバル」が今年も

開催されます。

タンチョウ観察のピークである2月に毎年開催しており、タンチョウの鳴きまねを競う「タンチョウ鳴き声コンテスト」や、雪の入った水の中に裸足で片足立ちする時間を競う「タンチョウ耐寒競技」など、タンチョウにちなんだ来場者参加型のイベントが人気のお祭りです。

「タンチョウウルトラクイズ」には、タレントの杉田かおるさんも参加します！

「タンチョウ再発見から100年」を迎えた節目ということもあり、今回はスケールアップして開催しますので、ぜひご来場ください！



【開催日時】 令和7年2月9日（日）

11:00～15:00

【開催場所】 鶴居村野球場（鶴居村鶴居西5丁目1番地）

【お問合せ】 TEL：0154-64-2020 （NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会）

【HP】 <https://tsuruimura.com/20250208-09-tanchoforum-festival/>

◎「江差産ゆがのそば 手打ちそば教室」を開催します！（江差町）

<わが村団体名：えさし水土里の会>

江差では、一番寒さの厳しい2月に、『たば風』が吹きつけます。『たば風』とは、江差で1月から2月に北西から吹く強い季節風のことです。この『たば風』に負けないように、江差では

“江差たば風の祭典”として様々なイベントを開催しています。

そのイベントの中の一つとして、地域の伝承文化を守る活動などを行っている「えさし水土里の会」では、豊かな風味が自慢の地元産そば粉を使った手打ちそばに取り組んでいる「そば辰ゆがの会」と一緒に手打ちそば教室を開催します。

みなさま、寒さに負けず、冬の江差で美味しいものを食べて、遊んで、楽しんで、そして、そば打ち体験もしてみませんか？

【開催日時】 2月15日（土）

午前10時～（2時間半程度）

【会 場】 旧朝日小学校

（江差町字朝日町96番地）

【お申込み】 (有)人形社（西海谷）

電話0139-52-0818

※定員20名になり次第、募集終了となります。お早めにお申し込みください。

【募集期間】 2月3日（月）～2月10日（土）

【H P】 <https://esashi.town/matsuri/page.php?id=399>（江差町観光情報ポータルサイト）

※参加料、当日の持ち物等の詳細についてはHPでご確認ください。

◎『みんなで作って食べよう！カレーライス

子ども料理教室 冬休みビーフ編』を開催しました☆

<わが村団体名：ななえの食を考える会>



『ななえの食を考える会』では、地域食材を活かした料理教室、食に関する講演会、果物収穫体験などの「食」に関する活動を行っており、1月7日（土）には北斗市のフレンチレストラン

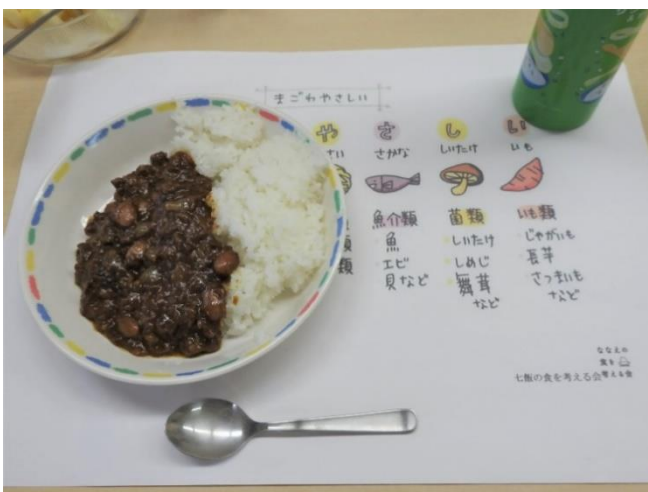
「climat（クリマ）」の関川裕哉シェフを講師に招いて子ども料理教室を開催し、小学生から高校生まで16人が参加しました！

この日作ったのは北斗市のおぐにビーフを贅沢に使った“牛ひき肉と豆とトマトのキーマ風カレー”です。まずは子どもたちがシェフの元に集まってお手本を見ながら調理



のポイントを教えてくださいました。「料理は好みだからこういう作り方もあると覚えてくれるといい。」「一回やっただけでは完璧にはならない。上手になるためには何回も作って食べることが大事。」「料理は難しく考えると難しくなる。食べ物も苦手と思わず食べてみた方が自分にとっての“美味しい”の幅が広がる。」小さい子にも分かりやすいような表現でシェフが伝えてくれたのは、料理だけではなく勉強や遊びにも言えることだと思います。

その後、3～4名ずつに分かれて調理を開始しました。サポートに大人が付き、シェフはテーブルを回ってアドバイスをしてくれます。シェフのお手本を見てやる気に満ちた子どもたちは、タマネギのみじん切りに積極的に挑戦して「目にしみたー」と盛り上がったり、ひき肉を炒めると「良い匂い～」と笑顔があふれたり、と終始楽しそうに調理していました。



カレーの実食タイムには、バランスの取れた食事のあいことば“まごわやさしい”の勉強をしました。「“まごわやさしい”の“ま”は今日のカレーにも入っているけど分かりますか？」の質問にみんな元気に「豆！」と答えてくれ、金時豆が入ったカレーを初めて食

べる子でも「豆は苦手だけどこれはおいしい」と好評で、何度もおかわりする子もいました。シェフが作ってくれたカレーのアレンジレシピのペンネやりんごをヨーグルトとスパイスで和えたものも一緒にいただきながら「将来は料理人になりたい」と話す子もいるなど、和気あいあいとした雰囲気です。料理教室を終了しました。

『ななえの食を考える会』では、食に関する様々なイベントを行っておりますので興味のある方はお問い合わせください。 【お問合せ】090-9754-3612（ななえの食を考える会 田中）

【活動支援メニュー】

○令和7年度 わが村運動活動助成の実施（NPO法人 わが村は美しくー北海道ネットワーク）

当NPO法人では、北海道開発局と連携し「わが村は美しくー北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、令和7年度の申請受付を開始しました。

助成事業の詳細については、当NPO法人のHPによりご確認ください。

「わが村は美しくー北海道」運動は地域で頑張る皆様に応援しています。

【申請受付期間】 令和7年1月

～令和7年6月30日まで

【助成額】 1団体当たり1件、10万円を限度として、選考により予算の範囲内で助成

【HP】 <http://wagamura-net.jp/>

NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク 事務局

令和7年度わが村運動活動助成の実施についてのご案内

当NPO法人は、これまで微力ながら運動参加団体の活動を支援してきましたが、今後、より一層幅広く地方の活動を支援するため、「わが村運動活動助成」に取り組むこととします。詳細は当法人のホームページ上に掲載しておりますが、令和7年度事業実施の助成募集期間（前期：令和7年1月から6月30日まで）としています。

これまで構想があったが予算上から思うように取り組めなかった事など、今後の活動の中で本助成事業の対象となる活動がございましたら、これを契機にご検討いただければ幸いです。

申請にあたっては、申請書（様式1-1）及び（様式1-2）を上記の期間内に当NPO法人事務局まで郵送、FAX、メールにて送付いただければ受け付けます。

なお、本助成事業は当NPO法人の特別会員を対象としておりますので、申請される場合は、申請書（様式1-2）の「特別会員入会の有無」欄に記入いただきますようお願いいたします。是非この機会に特別会員への入会（無料）をお願いいたします。

（注）

① 「わが村運動申請」の詳細は当法人ホームページの【わが村活動支援】>【活動助成事業】によりダウンロードできます。（右のQRコードからも取得できます。）



② 申請書（様式1-1）及び（様式1-2）は当法人ホームページの【わが村活動支援】>【申請書様式】等によりダウンロードできます。



（右のQRコードからも取得できます。）

申請書提出先：NPO法人 わが村は美しくー北海道ネットワーク 事務局

〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目2番地5 NDビル9階

FAX 011-758-7611

E-Mail wagamuranet@minos.ocn.ne.jp

又はE-Mail② y_kudoh@kishimotogumi.com

担当者：工藤 郁二、山田 久幸

○令和7年度 地域活性化活動助成の募集（一般財団法人 北海道開発協会）

一般財団法人 北海道開発協会では、「地方版総合戦略」と新たな北海道総合開発計画の推進に寄与する地域づくりを支援するため、北海道内の地域の活性化に資する民間主体の活動や取組に対して助成を行っており、例年2月～4月を助成募集期間としています。

令和7年度の「地域活性化活動助成」の詳細については、募集開始時に当協会HPに掲載されますので、そちらよりご確認ください。

【助成募集（申請）期間】例年2月～4月中旬頃

【HP】<https://www.hkk.or.jp/kenkyusho/chiiki.html>

○農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション整備事業（定住促進・交流対策型））

～直売所・加工所・農家レストラン等の整備～ （農林水産省農村振興局）

農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策のうち農山漁村発イノベーション整備事業（定住促進・交流対策型））では、市町村が作成した農山漁村における定住及び農山漁村と都市との交流促進を図るための「活性化計画」の実現に向けて、農産物加工・販売施設、地域間交流拠点等の整備を支援します。例えば、集出荷・貯蔵・加工施設や直売所、農家レストラン等の整備が交付対象です。

事業メニュー・要件等詳しくは、お問合せ（担当）へご相談ください。

【募集期間】令和7年1月24日～令和7年2月14日（令和7年度当初募集）

令和7年6月～7月頃（予算状況によるが、募集予定）

【交付（補助割合）】事業費の1／2（上限4億円（国費））

【お問合せ（担当）】農林水産省農村振興局地域整備課活性化支援班 03-3501-0814（直通）

【HP（農林水産省）】https://www.maff.go.jp/j/kasseika/k_seibi/seibi.html

※本事業に関するガイドブック、活用のポイント等がHPに掲載されています。

○農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取り組みを積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する「便利帳」を作成しています。詳細は、北海道農政部ＨＰをご覧ください。

【Ｈ Ｐ】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部ＨＰをご覧ください。

【Ｈ Ｐ】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々に応援するための制度で、新商品を３ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに３か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（テスト販売期間：Ｒ７ 第１四半期（４月～６月））

令和７年１月４日 ～ 令和７年２月２０日

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

ＴＥＬ ０１１－２０４－５７６６

【Ｈ Ｐ】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○助成金情報（公益財団法人 北海道地域活動振興協会HP）

公益法人、民間企業などの助成事業等が掲載されていますので、ご参考まで↓

【H P】 <http://www.fureaizaidan.or.jp/SubsidyList.php>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【H P】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

北海道では1月下旬から2月初めにかけて1年で最も寒い時期を迎えるそうで、毎年この時期に冬のイベントが各地で開催され、たくさんの観光客などで賑わいを見せています。観測上の最低気温もこの時期に記録（1902/1/25 旭川-41.0℃）され、今年は遅れているようですがオホーツク海の流氷もこの時期（流氷初日平年並の範囲 1/19～1/27 網走）に接岸し、これにより道内各地の寒さも一層厳しさを増すとのこと。

地域や年によって寒暖差はあるものの、今年の札幌は気温が高めで雪も少なく、さっぽろ雪まつりの開催が心配されるほど、この時期としてはとても過ごしやすく感じます。

そんな冬の寒さですが、湖沼などでは冬期に表層の水が冷やされることにより深層の水と循環し、これが水質の保全にも繋がっているとのこと、寒気が緩いとうまく循環しないなど、いろいろ影響もあるようです。あれこれ考えると、冬は冬らしく寒いくらいがちょうど良いのかもしれませんね。

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階

↓わが村HPはこちらからご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

(配信希望の方は、所属先(所在地)、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください)

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。
